

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域かかりつけ医ハンドブック作成事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人佐久医師会 佐久医師会館(1階事務所) 佐久市原 569-7
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,780,000円(うち支援金:2,835,000円)

事業内容

佐久地域住民に日頃から医療について気軽に相談できる「かかりつけ医」を持ってもらえるように、「かかりつけ医ハンドブック」を作成し、佐久市及び南佐久郡町村へ全戸配布をした。

内容は「かかりつけ医」の意義や選び方のアドバイス、地域医療機関の基本情報や、行政機関からの健診等のお知らせなどを掲載し、患者や家族が知っておきたい基礎知識を提供することで、安心な地域づくりに貢献する。



【冊子「かかりつけ医ハンドブック」
信濃毎日新聞 11/11 東信面に掲載】

【目標・ねらい】

- ①地域住民に「かかりつけ医」の役割は何かを理解し、持ってもらう。
- ②地域の医療機関と医療システムの概要を紹介する。
- ③高齢化社会における在宅医療の基礎知識の紹介。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「かかりつけ医」を持つ意義を解りやすく説明し、個々の医療機関の基本的な情報や、医療の特徴を示すことができた。

かかりつけ医を持ち、適正な医療の選択をすることで医療の効率化と患者の負担を減らすきっかけとなった。

高齢化社会が進む中で、患者や家族が知っておきたい基礎知識を提供することで、これからの地域医療のあり方を考えるきっかけとなった。

健康への関心の啓蒙としても、本冊子は地域住民にとっての有益な情報冊子となった。

※自己評価【A】

【理由】この冊子について、佐久地域内外の住民からの問合せも多く、関心の高さがうかがえる。また、これらの問合せ等(医療機関、医療情報)についての要求に応えることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回の冊子をきっかけに、「かかりつけ医」を探していただくきっかけになっただけでなく、高齢社会が進む中で健康寿命を延ばし、地域医療のあり方を考え直すきっかけにしていきたい。

患者が自分に合った医療選択をすることで、医療の効率化をはかり、医療、保健、福祉の充実に力を尽くしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある